

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 31 年 1 月 14 日 (19 : 00～21 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	13 人	2 人	1 人	17 人

前回の改善計画
<p>*初めて利用される方は、色々な不安を抱えながらの利用になると思います。スタッフは事前に得た情報を元に、コミュニケーションを積極的にとり、少しでも不安を軽減できるように支援していくようにする。</p> <p>*常勤、非常勤問わず、その方の暮らしを知るため、運転できないスタッフや新人のスタッフは普段関わらないサービスにも時間や人員に余裕がある時は同行してもらい、サービス全体を把握できるようにすることで初期の段階から積極的に介入することができるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>*以前に比べ初めて利用されるゲストに対して、積極的に関わるスタッフが増えてきた。初期の関わりを理解し、取り組む姿勢は強化されている。</p> <p>*なかなか時間が確保できず、関われるスタッフが限定されてしまった。初期支援の段階では、どうやったら時間を作れるか考えスタッフ全員が関わる姿勢が必要だった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2 人	13 人	2 人	0 人	17 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1 人	12 人	4 人	0 人	17 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3 人	13 人	1 人	0 人	17 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1 人	9 人	7 人	0 人	17 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②③個人情報を確認し、わからない時は他のスタッフに聞いて情報共有することで、初期のサービス変更にも対応できている。また継続的に初期支援ノートを活用し、スタッフ間でゲストの情報共有ができています。</p> <p>①ノートを利用して発信できている。サービス前に情報収集し、ケアの一致に努めている。</p> <p>②④ご家族の話にも耳を傾け色々なお話をして頂けるよう、関係づくりに努めている。</p> <p>③初めてお会いする方には自分から積極的にあいさつや自己紹介をしたり、不安にならないように、または楽しんでいただけるよう努めている。</p> <p>③共有された情報を元に対応ができた。声かけ気遣い、音量などにも心がけている。</p> <p>②③新規ゲストの方には会話を通じて心を開いていただきご自身のニーズを知り、実現に向けてできることはないか検討している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①②③初期支援ノートをもっと活用すれば細かいサービスにも繋がられる。また受け身になっており、自分からも発信できていなかった。</p> <p>①事前情報が少ないので対応ができない。文字による情報量が多く理解できないことある。また、口頭での確認が不十分な時がある。</p> <p>③ゲストの気持ちを知ろうとしていない。(自己都合)</p> <p>①②サービス開始時まだまだコミュニケーション不足があったりとゲストの思いやニーズを早期に把握できていない。</p> <p>②④ご家族とお会いできる機会が少なく、関係づくりがあまりできなかった。あるいは家族が積極的にでなく難しいこともある。</p> <p>②サービス開始時にスタッフによってサービス内容の不一致があった。(統一されていない)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>*初期支援の段階では全スタッフがサービスに関わるべきであると考え、初期の段階では集中的にその方への時間を作り、常勤非常勤問わずサービスに一度は関わる様にする。</p> <p>*初期支援の質をより高めるため、初期支援ノートを発展させ個別での記入様式に変更し、より詳細な情報を書き込める様にする。またそれを活用し、より良いサービスへ繋がられる様にする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月14日(19:00~21:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	9人	1人	17人

前回の改善計画

*意思表示ができない方への関わりの中で、その方の生活歴や家族からの聴取、日頃の表情や仕草から～したいなどの想いを汲み取り関わっていく。
*～したいを実現する際はご利用者と計画性をもって実現できるようにし、自己実現の目的を明確にして行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

*意思表示ができない方に関しては思いや～したいを聞き取ることがあまりできなかった。
*思いや願いを聞き出すことができて実現まで持つていくことができないスタッフが多かった。日頃の生活の中でのちょっとした～したいや願いはできる限り対応できていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0人	7人	8人	2人	17人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0人	6人	10人	1人	17人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0人	3人	13人	1人	17人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0人	7人	8人	2人	17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①自立支援を基本に出来るだけ本人に行ってもらえるよう促している。
②～したいを情報収集し、知ることができている。また実践に写せるよう計画書までは作ったが・・・。
②③限られたゲストに対しての「～したい」は把握、実現に努めている。表情や仕草からも～したいを汲み取り実践に移し、喜んでもらえるように努力できている。
②③～したいを汲み取り、全部ではないが実現できたこともある。日頃からコミュニケーションの中でゲストから～したいが聞かれた時はできる限り実現できるよう努力している。
④～したいの思いや願いを他のスタッフへ発信することができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①主に外出支援など計画性を持って実現できなかった。
①本人の目標がわかっていない。
②日々の業務に流されてしまい普段から「～したい」を聞き取れていないため、具体的な実現性がない。ケアの一環としてできていない。
③計画したり考えたりはしているが実践に繋がっていない。一部のゲストへの対応しかできていない。
③本人の思い、ご家族の思いに相違があり、実践できないこともある。
③意思表示のできない方に対する関わりに時間が取れなかった。
④ミーティングで他のスタッフへ発信することができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

*日常の中で丁寧に声を拾いまずは目の前の～したいを実現できる様に努力していく。スタッフ一人が背負うのではなく、情報を共有し、なるべく時間をかけず実現するためにはどうするかを考える意識を持つこと。他スタッフを頼りお願いできる、任せられる環境であること。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月14日(19:00~21:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	4人	1人	16人

前回の改善計画

*引き続き、申し送りは確実にこなっていく。その際情報が途切れないように、業務日報や申し送りノートを利用しながら引き継ぎを行なっていき、文字にのこしながら申し送ることで、翌日や翌々日の勤務者にも伝わるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

*昨年度に比べ申し送りは必ず行なっている。しかし、業務的な扱いになっている時もあり、中身がともなっていない継続的な伝達ができなかったり、途中で途切れてしまったりすることがあり適切な支援に繋がらないことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	2人	13人	2人	17人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	13人	0人	0人	17人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2人	5人	8人	2人	17人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	12人	2人	0人	17人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2人	11人	4人	0人	17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①申し送りを必ず行い、情報伝達は出来ていた。仕事に入る前に情報収集に努めている。
 ①個人情報を元にゲストとコミュニケーションを取るときに聞き出している。
 ②入浴や排泄支援ではその方のその時の状態に合わせて、言葉を選びながら声かけを行っている。また、できることはご自身で行えるようにしている。
 ④いつもと違う変化を敏感に感じ取り、気づくことを大切にしている。体調の変化などもスタッフ間で共有し対応できている。
 ③④小さなことでも申し送りノートや口頭での申し送りを確実にするようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①申し送りに関してはまだまだと思う。できているスタッフもいるができていないスタッフもいる。小さなことにももっと問題意識を持ち情報を共有できるようにした方がよい。
 ①ご家族似合う機会も少なく、情報収集もあまりできていない。関わる状況によってわかるゲストとわからないゲストに分かれてしまう。
 ①④申し送り不足でゲストの変化に気づかないことがある。一部スタッフが気づき、自分では気づけないことがある。
 ③⑤ミーティング内で「本人の言語化」はあまりできていない。ミーティング内容は変わりばえせず、議題に対してのまとめで終わっていることが多い。答えも出せていない。本人の声よりもスタッフの声を共有している時間になっている。
 ④1日2日は経過観察しているが、日にちが経つと忘れてしまうことがある。後回しにした後に忘れてしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

*ミーティングに上がった議題をスタッフが継続的にモニタリングし、実践するだけでなく、評価や振り返りを行いミーティングの場で共有できる様にする。(一つの課題に対して点で見るのではなく、経過を追い線で捉えられる様にするため)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月14日(19:00~21:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	9人	1人	15人

前回の改善計画

*もう一度日頃のコミュニケーションなどから知り得たご利用者さんの日常の過ごし方や生活圏内に関わっている家族や友人、民生委員などをスタッフ間で共有をしていく。また、ここに来ていない登録されている方への視点も大切にし、ご利用者の暮らしを支えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

*民生委員さんなどとは関わることができない方がほとんどだった。サービスが多く入っている人ほど資源など地域性は理解しているが、自立度が高く、ご自身で生活ができていらっしゃる方に関しては関わる機会も少ないためあまり地域性を知ることができなかった。
*どうしてもきていている方ばかりに目が向き、きていない方への視点はまだ足りない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0人	8人	9人	0人	17人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0人	6人	7人	4人	17人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	7人	6人	3人	16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	1人	8人	8人	17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①日常のコミュニケーションの中から生活スタイルを開き出し関わりを持っている。できる限り情報収集をしている。
②限定的ではあるがその方の地域との関わりを支援できている方もいる。
②関係性の少ない家族にはできる限り情報を伝えるように努力している。
②④ご本人だけでなく、ご家族やご近所の方ともコミュニケーションを取るよう心がけている。
③コミュニケーションを取る際にその方が休みの日に何をしているか話題にしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①関わる程度によって収集する情報に差がある。一部ゲストのみになっている。
②普段から家族や地域との関わりが全くない方もいる。スタッフがご近所さんと接する機会があまりない。あいさつ程度。
③普段事業所を利用していない日の生活、暮らしぶりを知らないかもしれない。
④その方がお住いの民生委員さんまでは知らないことが多い。
④事業所周辺の社会資源は考えが及ぶが、その方がお住いの社会資源までは考えたことがない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・ゲストの今までの地域での暮らしを支えるため、日頃のサービスの中で地域の社会資源やご近所との関係性、ご家族との関係性などそれぞれが情報を収集し、個人ファイルへストックし情報を共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月14日(19:00~21:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	6人	1人	17人

前回の改善計画
 *サービスを理解し実行はできているが、本人の変化に素早く気づき、サービスをもう少しきめ細やかに柔軟に提供できるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 *昨年に比べサービスに対する理解が深まったことで、スタッフ単位でサービスの変更ができる様になり、より即時的かつ適切な支援につながっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0人	5人	8人	4人	17人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	13人	3人	0人	17人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1人	11人	5人	0人	17人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2人	14人	1人	0人	17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ①家族の予定や本人の状態に合わせ、受信や宿泊など細やかな支援ができていると思う。
 ①地域のイベントに参加させてもらい必要に応じた支援もできている。
 ②その方の状況に合わせ、小規模多機能の3つのサービスを柔軟妥当に提供できている。
 ②④一部の方だけかもしれないがその日、その時の希望に添ったサービスを提供できている。
 ②ご本人のしたいことができるように個別ケアを心がけています。
 ③ミーティングや申し送りなどを通して、スタッフ間で情報共有ができ、ゲストへ対応することができている。
 ④状態の変化に対して情報を整理し、随時サービスを変更し、必要な支援ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ①一人一人のニーズに合わせての細やかな支援はまだできていないと思う。
 ①地域資源の活用と思いつく情報不足になっている。自分自身がまだサービスの理解に至っていない。
 ①一部の利用者にしかできていない。特に意思表示のできない方に対してどのように支援して良いかが難しい。
 ③報告、連絡が途中で途切れることがある。
 ③本人の変化に気づいても対応が後手になってしまうことがある。または自分では気づけず、他のスタッフが気づくことがある。
 ③訪問などの際、業務ばかりに気を取られ、変化に気づけていないことがある。
 ③申し送りは行い、サービスが提供されるも記録が不足していることがある。
 ④対応や判断が難しいと思うことがある。
 ④声を上げられる方への柔軟な支援に偏りがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 *目標は継続とし、よりきめ細やかな多機能な支援ができる様支援していく。定員や範囲が決まっている中でも必要な方に必要な支援を提案できる力を身につける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月14日(19:00~21:30)

6. 連携・協働

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	7人	4人	17人

前回の改善計画

*サービス担当者会議への定期的な参加は難しいが、日頃のカンファレンスから意見を上げ、担当者会議の場で議題とできるようスタッフ間でもサービス開始前のカンファレンスを行えるようにする。
*引き続き自治会や近隣施設のイベントや行事にはゲストとともに一緒に出かける機会をもっと増やしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

*担当者会議への全スタッフの参加はできないが、一部リーダーやスタッフが参加することができた。
また、参加できなくても事前にカンファレンスをし、担当者会議でスタッフの声をあげることができている。
*自治会や近隣施設のイベント、市内各行事にはゲストと一緒に参加できた。

◆今回の自己評価の状況得ることは

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人	1人	3人	12人	17人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0人	1人	2人	14人	17人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0人	4人	3人	10人	17人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	10人	3人	3人	17人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①①一部ゲストは行っている。スタッフが参加できない場合は内容の開示で情報を知ることができる。
①③街並み清掃やベルマーク、キャップの寄付など地域活動交流ができた。
①③自治会の運動会にゲストと参加したり、近隣の施設のイベントなどに一緒に参加できた。
④地域の方が、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりを心がけている。あるいはいつでも出入りができる体制で、子供からお年寄りまで入り交じり良いと思う。
③消防訓練には積極的に参加できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①担当者会議の理解がない。開催していることを知らない。開催していることは知っているが参加できていない。
③イベントにはあまり参加できていない。積極的ではない。
③地域のイベントへの参加は増えてはいるがまだまだ足りない。
④地域住民の来訪はとて少ない。もしくはもっとあっても良い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

*サービス担当者会議の理解が少ないため、フロア会議等で理解を深める時間を作る。
*ゲストと一緒に外へ出かける機会をもっと増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月14日(19:00~21:30)

7. 運営

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人	3人	17人

前回の改善計画
*事業所のあり方、フロアのあり方、フロアの理念を元にスタッフ間で共有し、月単位ではケア目標をたて実行し、フロア会議で実行状況の評価を必ず行う。月単位目標は実行出来るようにフロア内に毎月張り出し全員が同じ意識をもって取り組むことができるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
*フロアでの考え方はみんなで考えたフロア理念にそって議論できている。月単位目標は立ててはいるが認識が低く、会議ではきちんと評価されていないので実践の確認が取れていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1人	4人	8人	4人	17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	11人	4人	1人	17
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	6人	7人	3人	17
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1人	3人	9人	4人	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①法人理念を元にサービスを提供している。 ①月単位で目標を共有し、取り組んでいる。 ①運営方針やあり方などスタッフにも理解され、共感できていると思う。 ②ゲストやご家族から苦情があった場合は上長、スタッフ間で話し合い改善策を話し合っている。同じことが起きないように改善策に取り組んでいる。 ④地域にある施設としての意識を持ち、町内の美化やキャップの収集など積極的に行っている。 ④事業所として地域での存在意義は定着傾向であると考えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①月単位目標の評価を忘れてしまうことがある。 ①意見を言うほどの問題がなかったのと言っていない。あり方は理解しているが人に伝えられない。 ①不断の業務で運営まで考えたことがない。 ①フロア会議に参加していないので自分の考えを伝える機会や共有する場がない。意見を言わない時がある。 ①管理者とのコミュニケーション不足。 ②利用者の意見や苦情をすぐに報告に至っていない。 ③意見や苦情がスタッフに届かない。 ④地域の行事が少ない。あるいは共同した取り組みは毎年同じ物しかしていない。取り組み方がわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
*月単位目標は毎月更新し、みんなで確認できているので、きちんとフロア会議で評価し、次の実践へ繋げられる様にしていきたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月14日(19:00~21:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	3人	3人	17人

前回の改善計画	<p>*事故への意識は高まっているが継続性が乏しいため、事故内容を一定期間申し送りし、事故報告書と併用して危機感を持つようにする。</p> <p>*事故後のショートカンファレンスは即時的な対応を検討し、フロア会議でその方のカンファレンス事項として事故を取り入れ、サービス内容や環境面、スタッフの業務の視点など事故を多角的に分析し、根本的な解決策へ近づける。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>*事故発生後の申し送りは行なってはいるが途中で途切れてしまい継続的に意識づけることができなかった。</p> <p>*事故後すぐにショートカンファレンスを開催し、即時的な対応策を検討し、意識を高めることができたが、フロア会議内では時間を作ることが中々できず、分析までは至らなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	10	4	1	17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	6	5	4	17
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	3	14	17
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	6	9	2	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①事故後のショートカンファレンスは実施し同じ事故が怒らない様努めている。自分の意識を高めるため、必ず自分で確認している。</p> <p>②目標に対しての理解が定着しつつあり、管理者だけではなくスタッフ個々が危機感を感じられる様になっていると思う。</p> <p>①外部研修へ参加し、資料をまとめフィードバックできた。</p> <p>①職場内の研修には積極的に参加できている。</p> <p>②限られたスタッフになるが、外部研修への参加や資格取得に向けたスキルアップに取り組んでいる。</p> <p>④危険を感じる場所や設備については早めに上司や事務方に伝えて改善してもらっている様になっています。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①事故直後は情報共有もできているが、日がたつと意識が薄くなり、同じ事故がおきてしまう。</p> <p>①フロア会議では時間がなく、多角的な事故の分析などはできていなく報告のみになっている。一定の申し送りはされておらず、会議で初めて知ることがある。</p> <p>①職場内研修は時間が遅いため参加が難しい。</p> <p>③地域連絡会へ参加できていない。参加するチャンスがない。</p> <p>②資格取得などは気持ちに余裕がなくできていない。</p> <p>④事故の対応策としてのチェック表などは活用できているが、薬やバイタル測定忘れなどの事故が減らない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>*事故後のショートカンファレンスは継続的に行い、当日勤務者での周知検討は行なっていく。合わせて全スタッフが事故内容を把握できる様、発生後2~3日以内には全スタッフへメールで事故内容を配信しお知らせする様にする。結果、会議内でスムーズに意見交換ができるようになる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成31年1月14日(19:00~21:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 下澤、朝日、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、高木、仲田、大橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	4人	2人	17人

前回の改善計画
*「ちょっと待ってください」などその方の行動を制限するような声かけは拘束となり得ることをそれぞれが意識し、十分に注意する。 *引き続きフロア内での情報共有の際やケアの声かけの際は声量にも注意し、プライバシーへ配慮しながら行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
*まだまだ忙しい時間帯や、スタッフの欠員があった時など声かけに余裕が見られないことがあるが、以前よりは意識できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12	4	1	0	17
②	虐待は行われていない	15	1	1	0	17
③	プライバシーが守られている	7	6	4	0	17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4	5	2	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	8	2	0	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①トイレ誘導時は耳元で話している。 ②申し送りの際はゲスト様から少しでも離れて行くことを意識し、キッチンの奥で小声で行う様に心がけている。 ③急に立ち上がり動き出されても静止することなく寄り添える声かけができていた。 ④ゲストに対しては尊敬と尊重の思いを持って接する様にしている。言葉遣いは特に、親しくなっても礼儀は忘れず心がけている。 ⑤虐待、拘束は一切行われていない。 ⑥プライバシーを守られる努力がなされている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①声が大きいと感ずることがある。個人的に不適切だと思ふ声かけをしてしまうことがある。誰が聞いても適切な声かけをできる様にする。 ②忙しい時はつい「待ってください」と言ってしまうことがあり、ゲストに対して嫌な思いをさせてしまった事がある。 ③脱衣所の出入りを配慮なく行なっている。 ④意識はしているがつい忘れてプライバシーの配慮に欠けてしまうことがある。 ⑤ゲストの前で他のゲストのことを話してしまうことがあった。 ⑥後見人制度に対する理解ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
*個人情報保護マニュアルとは別にプライバシー保護マニュアルを作成し、スタッフ間でルール化することでより適切なプライバシー保護の視点を身につける。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 愛成会	代表者	平本 敏	法人・ 事業所 の特徴	法人理念である「愛成相和」を元にお互いが助け合い、支え合い感謝の気持ちを持ってサービス提供を行うことをスタッフが共有して実践できるよう心がけています。また利用者の「生きる意欲や喜び」「癒し」の充足に務めるとともに、地域密着型サービスを提供する事業所としてご家族、地域の方たちに愛され、信頼される施設作りの為、地域の清掃活動や自治会活動への参加など様々な取り組みを行っています。
事業所名	ヴィラ愛成	管理者	下澤 貴道		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	4人	人	人	人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価表の9項目に対して9つの次年度の目標を立てています。1年を通して継続的に実施していきますので、日々の中に埋もれないよう、年3回(上期、中期、下期)に分けてモニタリングを実施していきます。より確実に改善できるようにしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回のモニタリングはスタッフを集めて時間を割いてすることができなかったが、管理者とフロアリーダーで定期的なモニタリングを行い、目標のチェックや取り組みの微調整を行い、スタッフに周知してきた。昨年度に比べ事業所自己評価に対する改善計画への意識を高く持ち取り組めたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来ていないにチェックが多く入っている分野はそこに対してのスタッフの問題意識が高く改善計画をきちんと立てていると思う。 毎年参加させてもらっているが年々スタッフの方々の考え方も変わっており、いい方向に向かっていていると思う。 満足したらそこで終わってしまうので常に問題意識を持ち話し合いを持って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度同様、事業所自己評価9つの分野の改善目標は年間を通しての実験となるのでスタッフは日々の業務の中に埋もれていかないよう、それぞれが簡素に記入できるような年間目標のモニタリングシートを作成し、定期的な実施の評価を行い、次回外部評価時のまとめの時にも時間をかけず実践の評価が行えるようにする(フロアリーダーが取りまとめる)
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 外回りもあるため必ず誰かが事務所にいるというのは難しい。不在時には案内板を窓口におき、呼び鈴でスタッフが来客者に対応できるように体制を整える。 引き続き、玄関は開放しながら利用者の安全を確保できるようにスタッフ一同取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務所が不在にならないようまずは事務所内の勤務体制を見直し、誰かが出勤できるような状態をできる限り確保。その中でも業務上外出時には不在になる為、来客時には呼び鈴でスタッフが対応できるようにしている。案内板においては現在作成中である。施設外環境では各フロアスタッフからなる環境委員がしつらえ・環境の整備を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の周りはいつも綺麗になっていると思います。動物や植物もあり子供も来所しやすい工夫がされていると思う。 裏の木の手入れを近所の方がやってくださっており、非常にありがたく感謝しております。 日中玄関の開放を行っており、居心地のいい空間だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より各フロアから1名〜2名選出された環境委員を満足しています。この環境委員を中心として施設内外の環境整備、花壇やプランターの植え替えなどを行い、気持ちの良い空間づくりを継続して行っています。また、月2回利用者で行っている町内の清掃活動も継続して行っています。 日中は玄関の施錠はせず、見守りを行いながら利用者の安全確保に努める。それに伴い地域に開放された暖かい空間づくりを目指します。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 日々業務しながらの地域交流ですが、これからも地域の拠点となるよう、より沢山のお客様にきていただきたいと思えます。すでに参加させていただいている、認知症カフェや地域サロンもより活動的に行っていきます。 事業所の看板は法人へ報告を上げ検討していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年恒例となっている自治会の行事には利用者と一緒に参加することができた。また施設でのイベントにもたくさんの方が足を運んでくれました。イベント時だけではなく日常的に地域の方が来訪できる環境づくりが強化できていると思います。認知症カフェでは利用者も企画運営の段階から参加させていたいただきます。看板に関しては法人で検討させていただいたが、構造上壁に設置することが難しいということだった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所は年々地域の方に知られてきており、認知度も上がってきていると思います。藤沢街道を挟んで向こう側はまだ知らない方も多いため。 認知症カフェや地域サロンには利用者さんと一緒に参加していただいている。 施設近所の方から助けを求められたこともあり、スタッフが対応したこともあった。自治会としてもそういう助け合いができればと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年自治会の行事やイベントごとにはスタッフ、利用者共々参加させていただいています。今年度も積極的に地域行事へ参加できるようにします。また、ヴィラ愛成で行っているイベントや行事などにもたくさんご来所いただけるよう広く広報し、地域の皆様との親睦をより深めたいと思います。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> その方が自宅へ戻られた際の関わりを増やす為、運転ができないスタッフやパートのスタッフ時間に余裕がある時は訪問へ同行し、自宅での暮らしぶりや地域との関係性などを共有できるようにします。支援範囲をここだけに留めず地域でその方が行って来たことではできる限り継続できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 人員に余裕がある時はサービスのついでなどで普段運転しない方や、パートで曜日ご合わせのスタッフでもその際にも同乗し、その方の暮らしぶりを実際に見てサービス内容を知る機会を作ることができた。 その方の地域性を大事にし、今までを継続できるように生活の中で行ってきた習慣や行きつけなど積極的に実現できる取り組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者と一緒に地域の行事に参加していると思う。 利用者以外のご近所の心配な方への関わりは、非常に難しいと思う。これは小規模単体での関わりではなく、行政と連携したほうが良いと思う。 地域ケア会議は定期的に開催しているが、個別事例での地域ケア会議はまだ開催が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度に比べ、その方が住まわれている地域の方や場所との関わりを少しずつですがスタッフ単位で行えています。今年度も支援の範囲を自宅とヴィラ愛成だけにとどめることなく、その方の生活圏域として捉え実践できるようにする。 例) その方の行きつけだった美容院へ行くようにする 例) 長年お付き合いのある友達と病気になるからお茶にいつでもおしゃべりを楽しみたい
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き運営推進会議では、施設の活動状況だけの報告ではなく地域課題の共有や検討の場としての機能も果たせるよう努める。 今年度はスタッフの参加がほとんど叶わなかったため年度末は、勤務表を作成の段階からスタッフが参加できるよう勤務調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議ではやはり施設の活動状況の報告がメインになっており、地域課題についての議論はなかなか行っていない。実際は個人情報などもある為、具体的な案件のお話はできず、専門職へつなぐ程度までの内容程度。その他では自治会と共催の行事だったため、自治会関連のお話はすることができた。 全部ではないが運営推進会議へのスタッフの参加は少しずつできてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方の情報共有は個人情報もあり難しいこともあるかもしれませんが、要望があればこの会議の場でお話できると良い。 介護保険情報や大和市の関連ニュースなどいろんな要望があればこの会議の場をお借りして、情報提供をさせていただいています。 スタッフが運営推進会議に参加している事業所は少ないのでこのように出来ている事業所はそれだけ意識が高いのだと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつスタッフの参加ができるようになってきましたが、全てではないので、今年度は年6回の運営推進会議でスタッフ1名以上の参加を促し、意見交換の場としています。今までは管理者メインで行っていましたが、スタッフにもより身近なものとして周知できるようにします。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も年2回の防災訓練を行うが、昨年同様地域の方々へも参加していただける事前にお知らせをする。そのほか同じ区内の班長さんなどにもお声かけさせていただき、参加していただけるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の防災訓練の際には、自治会の方々へお知らせし、参加していただいています。区長さんなどの参加は叶いませんでした。防災訓練の際は利用者の避難時の見守りを自治会の方にお願うことができ実際に即した形で行うことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害があった時に自治会との連携の内容は事業所ごとに違いがあり大枠では協力体制を築いていないところがある。こちらの事業所は自治会との防災協定があり文書で作成している為、明確になっている。 自治会内でも防災活動を行っており、地区内の要援護支援制度の該当者名簿の見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の防災訓練は毎年夜間を想定しスタッフ、自治会の方、消防の立会いのもと行っています。色々なケースを想定して行っていますが、今年度は利用者の安全を確保しながら、実際に疑似煙幕を用意したり、暗くしてより夜間に近づけたりと、実践に即した形で実施していこうと思います。

